

令和九年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(国語学・国文学)

一 別紙Aの影印について、①全文翻字し、②「」で括った箇所を現代語訳せよ。
(二〇点)

二 別紙Bの記事について、日本語学的観点から分析を加えよ。(二〇点)

三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)

(1) 蜻蛉日記

(2) 賀茂真淵

(3) 授受動詞

(4) アクセント核

四 次の中から自身の研究分野に応じて一問を選択し、解答せよ。(二〇点)

(a) 言語研究にコーパスを使用するメリットとデメリットについて詳述せよ。

(b) 仙覚の萬葉集研究について概説せよ。

(c) 物語文学の発生と十世紀までの展開について概説せよ。

※解答は縦書きにすること。

別紙 A

漢書中絶言

柳原家藏

孝養の心うぬくおりのいさちう通す
まよやう語うふたにおりいやり
なこのとずれあき波風もあらんおふ
うれいせんもあきをうれいら
とろこのうむきいふあり七月十日
日はおほしうぬく我たらてあふ
うむきいふあきよりたふそれいより
いふのあふんあふれありあきいふ
あまのあふれあふのうむきいふ
あふれいふあふれいふ

別紙ふ 我あふれあふのあふれあふれ
うむきいふあふれあふれあふれ
くそ人のうむきいふあふれあふれ
ていふのうむきいふあふれあふれ
うむきいふあふれあふれあふれ
よりあふれあふれあふれあふれ
あふれあふれあふれあふれあふれ
あふれあふれあふれあふれあふれ
あふれあふれあふれあふれあふれ

別紙 B



128

中華若木詩抄卷之三 東山如月和尚註
黄昏茅店帶星入清曉竹輿蒙露行客路三
身半百對人猶自說歸耕

自笑

徐淵子

自笑トハ身ノヲツクゝ案スレハ吾十カラモ一
世ラル、ソ
一ニノ句 我ハ一生旅中ノ晚景ハ黄昏マテア
ルクホトニ星ノ出ル蔭タヒヤヘ落キツクソ茅店ハ
菰屋ノテイノヤカテ其曉ヨリウツ立テ竹ノ輿ニ
乗ノ露ノ中ヲタトリ行ソ此詩ハ前對ノ前對ニ
ハ一ノ句ニ韻ヲフマス
三四ノ句 客ハ我ヲ指ノ云ソ我カ行クヘキ路ハ
三千里モアルソ年ハハヤ五十ノ半百ハ五十ノ
カウアレトモ一生旅ニテクラスモカレナカラ世路

口推法未待歩達也

ニマトワサレテ奉公スルユヘニ如此ノヒツキリテ隱
居セシハヤスキヲナレトモ又世邊モ捨カタクテ今
日トトウ午過ルノソレニ又ヲカレキヲノアルハ身
半百ニナルマテ隱居モセス猶行クヘキ路ハ三十
里ニノ居テ人ニ逢テハ世上ノモ六ノ數ホトニ
隱居ノ田ヲ耕シ樂ムヘキ云ソサウ思ソハナセニ
前々隱居セヌソロニテ人カマレク歸耕セント云
カヲカレイン

戰場無處不傷情亂後村墟次第經昨日英雄
今白骨春風原上草青々

亂後經村墟

田野夫

一ニノ句 戰場ト云ヘハイツクニテモアレ情ヲイタ
マレメスト云フヲカナイトコヲ見ルモ物アワレニ
コイ躰カアルノ春ノ時分ヒマアリ亂後ノ躰ヲ
見ルハキト思テ合戰ノ旧迹ヲコ、モ合戰ノ迹ア

129

15

10

5

10

5